令和7年度(冬)宮崎大学公開講座 「源 氏 物 語 ~蜻蛉(かげろう)巻を続む~」

集 中 講 義 予 定 会場: 錦本町ひなたキャンパス

「源 氏 物 語 ~蜻蛉巻を読む~」 とは、

蜻蛉とは、「陽炎」ではなく、虫偏から分かるようにトンボのことです。ただ、一日で寿命が終わるという伝承があるために、「はかない」という点では「陽炎」と共通します。時間の関係で今回は取り上げられませんが、巻名となった巻末の和歌から察するに、それは宇治の姉妹を比喩するもののようです。

蜻蛉巻は宇治十帖の他の巻と同じくらい長いのですが、後半は浮舟と関係ない話になってしまいますので、今回の講座は1回で済ませることにしました。後半の話がどのように展開するかを感じていただくために、日曜午後の回に敢えて1



回入れてみました。どうしてこのような展開となるかは、推測に過ぎませんが皆さんにお考えいただく形で後述し、本講座の第4回で詳しくお話しすることとします。

前巻・浮舟巻の巻末で、ヒロイン浮舟は死出の旅に出る決心をしますが、蜻蛉巻はその翌朝の描写から始まります。もちろん遺骸など見つかっていないのですけれど、事情を良く知る右近と侍従は、良く言えばそれを「察し」、また幾分悪く言えば、自分たちの責任を曖昧にしてしまうため、早々に死んだことにして、遺骸なき葬送を行ってしまいます。ここに次巻・手習巻で、浮舟生存が語られる余地が生ずるのです。

ただそれは、言ってみれば怪我の功名で、本当はやはり、浮舟はここで死んでいたのではないか。そのようなことも考えながら、この巻を読み進めて頂きたいと思います。

そしてその答えのどちらが正しいかは、第4回を聞いた上で、それぞれ御自身で御判断ください。

講師:宮崎大学名誉教授 博士(文学) 山田 利博

	期日	内 容
第1回	令和 8 年 3 月 21 日 (土) (10:30-12:00)	浮舟、失踪
第2回	令和 8 年 3 月 21 日 (土) (13:00-14:30)	遺骸なき葬送
第3回	令和8年3月22日(日) (10:30-12:00)	薫、右近から実情を聞く
第4回	令和 8 年 3 月 22 日 (日) (13:00-14:30)	薫、女一の宮と女二の宮を比較

◆受講方法

1. 12月1日(月)から募集を開始します。お電話、FAX、E-mailにてお申込ください。

宮崎大学学び・学生支援機構共創人材育成課

受付時間:9:00~16:00 (土日・祝日は除く)

電話: 0985-58-7188 FAX: 0985-58-7974

E-mail : m-chiiki@of.miyazaki-u.ac.jp

※申込時の情報は、公開講座に関する業務のみに利用され、その他の目的には利用されません。

2. 受講申込(仮予約)がお済みの方は、銀行窓口で受講料を納入してください。

◆受 講 料:3,000円(全4回分・消費税込)

◆入金期日:申込日より1週間

◆振 込 先:宮崎銀行 清武支店 普通預金

口座番号:57863

受 取 人:国立大学法人宮崎大学 ダイ)ミヤザキダイガク

電話番号:0985-58-7122

注)銀行窓口で受講料を納めた際は、振込金受取書を必ず受け取ってください。 領収書になりますので、大切に保管してください。

申込後、大学にて振込確認を行い、受講者名簿に登録させていただきます。これで、受講決定となります。

※受講料について

- ① 受講料は銀行振込となります。当日の現金払いはお受けできません。
- ② 銀行振込の際には、振込手数料が必要となります。受講者の負担となりますのでご了承ください。
- ③ 受講料は返還できませんのでご注意ください。